



「男女仲が良く、元気があふれるクラスです」と話す新1年生の岸本宇信くん(左)、原口遥さん(中央)、浅見星月さん。3人ともKUMONの学習を継続しています。

日本語、英語の運用能力を磨き 「言葉に強い」生徒を育てます

昨年、「HEISEI INNOVATION」と称して教育改革に着手し、コミュニケーション能力や論理的思考力、英語力など、これからの社会に必要な力の育成に努めている埼玉平成中学校。「これらすべての土台となるのが『言葉の力』です。本校では、生徒全員が日本語検定や英語検定を受検するなど、言語の運用能力を高める教育を行っています」と、校長の蕪木豊先生。「また、言葉を学ぶことは、感性を磨き、心を豊かにします。人間を作る基本は言葉なのです」。同校が取り組む言葉の教育について取材しました。



「きちんとした言葉が話すと、きちんとした行動をとらなければなりません。そうすることで他者から信頼され、リーダーにもなれる。生徒には、どんな場所においても、リーダーとして活躍してほしいと願っています」と、蕪木豊校長。

全生徒が日本語検定を受検 英語強化プログラムも準備

「埼玉平成中学校では、以前から、教育の目標に『言葉に強い生徒の育成』を打ち出しています。「その背景には、社会の大きな変化があります。2020年からは大学入試も変わり、思考力や表現力などが問われるようになります。コミュニケーション能力や英語力も、より一層求められるでしょう。そして、このような力の土台となるのが言葉であり、私たちはその力を伸ばす教育を実践しています」と蕪木豊校長。その中の1つが、全生徒による日本語検定の受検です。「この検定は、敬語や文法、語彙、言葉の意味、表記、漢字といった幅広い領域をカバーしているので、総合的に日本語能力を身につけることができます。ほかにも英語検定をはじめ、漢字や数学検定にも取り組んでいます。検定の良いところは、自分のレベルに応じた学びができ、自学の習慣が身につく点です。また、言葉の教育は、日々の授業のなかで、生徒が自分の考えや意見を語れるように、教員が指導をしています」。

さらに同校は、来年度に向けて、さらに英語教育を徹底していきます。「現在、検討しているのは、中学3年の10～3月を英語強化期間に設定し、10～12月は外国人教師による英語の授業を1日3時間実施し、1～3月は全員がオーストラリアへ留学するというものです。中高一貫コースでは学習を先取りしているので、このようなプログラムの導入が可能です。本校は、英語を本気で学びたい人が満足できる教育を提供していきます」。

言葉の力を伸ばしたいと 埼玉平成に進学した公文生

同校の教育について、生徒たちはどのように感じているのでしょうか。今年、中等部に入学した3人の公文生に話を聞いてみました。「まず、この学校を選んだのは『言葉に強い』という目標に惹かれたからです。オーストラリア語学研修など、校外学習が多いこともいいなと思いました。今は英検3級をもっていますが、日本語検定や漢字検定にも合格して、自分の励みにしたいです」と、話すのは岸本宇信くん。浅見星月さんも入学前から、「学校が英語や日本語に力を入れている」ことに関心があったそうです。「私は人前で話すのが苦手なので、それを学校生活の中で克服したい。海外研修など

でも、いろいろな人とコミュニケーションがしたいです」。小学生の時から英語が好きだった原口遥さんは「本当の英語力をつけるには、国語力が必要であるという考えに共感しました」と言います。そして、3人とも「授業の内容が濃く、先生の教え方が丁寧です」と、学習のサポートの手厚さを挙げました。そんな生徒に対し、学校も、6年間で言葉の力を身につけ、グローバルな社会で活躍できる人へ育ててほしいと、期待を寄せています。



岸本宇信くん。「KUMONで先取りをしていたので、数学と英語は得意です。また、テスト前は、理科や社会の勉強に時間を割けるのが有利だなと思いました」。



浅見星月さん。「基本を大切にするKUMONの学習と、この学校の方針があっていると思いました。中3のオーストラリア語学研修旅行が楽しみです」。



原口遥さん。「KUMONの先輩に勧められて、この学校を選びました。国語の力を伸ばして、それをもとに英語力もつけて、将来は英語を使う仕事をしたいです」。

コンピューター・シミュレーションプログラムで 経営活動を学び、将来社会で活躍できる人へ

社会で活躍できる生徒を育成するために、同校では、コンピューター・シミュレーションプログラム(ジュニア・アチーブメント主催)を導入し、経済活動の体験学習をしています。中等部では、CAPSというプログラムで、仮想の「ぼうし屋」の経営者になり、価格・仕入れ・宣伝広告費・設備投資を意思決定し、業績を伸ばすことを競い合います。高等部では、同様の内容で、仮想の「IT商品製造販売業」を設定。このような学習を通して、生徒たちは経営者としての感覚を身につけていきます。



▼未来の経営者を育てる



さいたまへいせい
埼玉平成中学校

〒350-0435 埼玉県入間郡毛呂山町下川原375

TEL 049-294-8080

学校情報ページも合わせてご覧ください!

POO・POO